

事業所名

放課後等デイサービスコンパス金沢文庫第2教室

支援プログラム

作成日

2026年

4月

1日

法人（事業所）理念		法人理念は、「私たちは、お客さまに思いやりの心で接する福祉サービスのプロ集団です」。放課後等デイサービスコンパス金沢文庫第2教室は、子どもたちの十人十色の個性を尊重し、感情や情緒、創造的な心を育み、子どもたちの「自分は自分である」という自己肯定感を高めていくことを目的としています。そして、それぞれの個性を伸ばし、「自分の意思で未来の一步を創造する力」を育みます。						
支援方針		個別療育・運動療育・集団療育をバランスよく取り入れ、生活能力向上を目指し社会性を身に付けることを目的とします。そして、画一的な療育ではなく、一人ひとりの個性に合わせた個別指導計画を作成し、それぞれの「個」の力を伸ばします。						
営業時間		平日	14時30分から17時30分まで	学校休校日	10時00分から16時00分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ●ライフスキルトレーニング：身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援します。他にも清掃活動、買い物、外出行事等を通してライフスキルの定着を図ります。施設内通貨を使った活動では、金銭感覚の定着を目指しています。 ●健康管理：手洗いうがい、検温等により病気の予防をするとともに、健康な体づくりの基礎を学びます。 ●安全教育：外出行事や送迎時の交通安全や避難訓練などのロールプレイと実践を通じて、日常の安全意識を高める支援をします。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ●身体機能向上：粗大運動や筋力トレーニング、ライフキネティック等を通して、健康的な体づくりを支援します。ライフキネティックでは、体を動かしながら脳の活性化を図ります。 ●レクリエーション活動：ルールの中で遊びながら楽しく身体を動かす体験を通じ、体力や感覚の向上を図ります。 ●外遊び活動：公園遊びなどを行う中で、発達状況に応じた遊具の使用を通じ感覚統合の支援を行います。身体をたくさん動かすことで全身運動の機会を育みます。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ●認知機能向上：ボードゲームなどを通して、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用し、必要な情報を収集し、認知機能の発達を促す支援を行います。 ●社会的スキルの育成：SSTや集団活動を通して、友だちとのコミュニケーションや協力の仕方などを学びます。 ●自己調整スキルと自己肯定感：感情の認識とコントロール、成功体験などの積み重ねを通して、自己調整能力や自己肯定感の育成を支援します。 ●行動障害への予防及び対応：スモールステップで小さな目標を設定し、達成感を味わうことで、自己肯定感ができるよう支援します。その中で、問題解決のステップを伝え、自己解決能力の定着も目指します。 ●行動療法：ポジティブな行動支援や構造化された環境下で、望ましい行動を促し、定着を支援します。 ●学習支援：宿題のサポートやプリント学習を通して、基礎的な学習スキルの強化を支援します。 						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ●言語発達支援：体系的な言語の習得、自発的な発語を促す支援を行います。また、活動の中で正しい言葉の使い方を学習します。 ●コミュニケーションスキルの向上：活動への参加を通して友だちとの相互作用の中で、コミュニケーション能力の向上のための支援を行います。 ●非言語的コミュニケーション：ジェスチャーや表情、アイコンタクト、絵カードなどを用いて、言葉以外のコミュニケーション方法を学びます。 ●グループ活動：集団活動を通して、他者とのやり取りの場を提供し、指導員が間に入り援助、支援します。他者とのやり取りを通して、協力の方法や自分の役割を見つける体験をします。 						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ●ソーシャルスキルトレーニング：挨拶や自己紹介、ロールプレイなどを通して、指導員や友だちとの関わり方を体験します。 ●愛着行動の形成：人との関係を意識し、身近な人との親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人との安定した関係を形成するための支援を行います。また、思いに寄り添った言葉がけに努め、指導員とご利用者様の良好な関係形成を図ります。 ●集団参加：手順やルールを理解して、協調した遊びや活動に参加できるよう支援します。自立に向け社会とのつながりと、社会貢献の機会を育みます。 ●自己理解とコントロールのための支援：自分の強みや希望を理解し、自分で決める力を育てる支援をします。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ●フィードバック：送迎時や玄関対応の際に、事業所や学校、家庭での様子を共有する時間を設け、事後の療育活動での関わりに活用します。 ●モニタリング面談：定期的（半年に1回以上）に実施し、ご利用者様の成長や課題について保護者様と話し合い、心のケアをサポートします。 ●家庭での支援方法の提案：自宅での過ごし方や生活スキル向上のための方法を提案し、家庭でも継続的に子どもを支援します。 ●保護者参観：半年に1度、保護者参観の行事を企画し、日々の活動の様子、職員の関わり、親子の時間、相談等を行い、支援に取り組みます。 						
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ●地域の施設の利用：図書館や公園、ログハウスなど、地域の公共施設を利用し、地域資源を活用します。 ●地域連携の強化：地域の学校や福祉サービスと連携し、包括的な支援体制を整えます。 ●情報提供と啓発活動：SNSの積極的な活用により、地域へ活動内容や障がいの理解を広めます。 						
職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ●定期的な研修と教育：専門的な研修（月に1回以上を基準）やケースカンファレンスなどを通して、最新の知識と実践的なスキルを学んでいます。 ●資格取得支援制度：資格取得のための費用補助や学習支援などを提供し、職員の専門性を高めます。 ●メンタリング：新任の指導員へのメンタープログラムを導入しています。 ●オフサイトミーティング：レクリエーション活動を通じて、職員間の協力体制と絆を深めています。 ●職場環境の改善：働きやすい環境の整備やワークライフバランスの推進に努め、職員のストレス軽減を図っています。 						
移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ●進学・就学のサポート：e-ラーニングの一環として科学的根拠に基づいた脳バランスキッズを活用します。 ●社会体験活動：ボランティアやお仕事体験などを通して、必要なスキルを学ぶとともに社会の仕組みなどを知る機会を提供します。 			主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ●社会体験活動：同法人の高齢者施設訪問やレクリエーション ●季節行事：夏祭り、冬祭り、お誕生日会などの実施 ●保護者参観：半年に一度、療育見学の実施。 	